

第 36 回環境振動シンポジウム

居住性能の性能ランクと設計フロー — 評価規準と設計指針概要 —

主催：日本建築学会 環境工学委員会 環境振動運営委員会

日時：2018 年 1 月 23 日（火）13:30～17:30

会場：建築会館ホール（東京都港区芝 5-26-20）

『建築物の振動に関する居住性能評価指針』は、1991 年に初版、2004 年に改定版が発行され、多くの設計者に振動環境評価の拠り所を与え、建築物の振動環境向上に大きく貢献してきた。環境振動運営委員会では、現在の指針の改定を活動の中心に位置付け、改定作業を鋭意進めている。今回の改定の方針や進捗については、ここ数年の環境振動シンポジウム、大会 PD において報告し、会員から広く意見を募ってきた。前回のシンポジウムでは、特に、性能マトリクスを用いた環境振動設計を中心に、風・歩行・交通振動を例として評価規準および設計指針の位置づけを示し、改定案の内容について報告した。今回、環境振動設計指針に掲載する設計フロー、計測による性能確認に関して最新の状況を報告し、広く会員からの意見を募り、反映させることを目的としている。

< プログラム（予定） >

司会：富田隆太（日本大学）、増田圭司（フジタ）

1. 主旨説明	国松直（産業技術総合研究所）	13:30～13:40
2. 評価規準（案）について	横山裕（東京工業大学）	13:40～14:10
3. 設計指針（案）について		
3.1 設計指針の概要	濱本卓司（東京都市大学）	14:10～14:30
3.2 自然振動源（風など）に対する設計フロー	西川大介（日本設計）	14:30～14:55
3.3 内部振動源（歩行など）に対する設計フロー	佐伯兼久（ヤクモ）	15:05～15:30
3.4 外部振動源（道路交通など）に対する設計フロー	上明戸昇（建設環境研究所）	15:30～15:55
3.5 計測による性能確認	濱本卓司（前掲）	15:55～16:15
4. パネルディスカッション	司会：鈴木雅靖（鹿島建設）	16:25～17:20
5. まとめ	峯村敦雄（鹿島建設）	17:20～17:30

参加費：会員 3,000 円、会員外 4,000 円、学生 1,000 円（資料代含む、当日会場でお支払いください）

定員：150 名（申し込み先着順）

申込方法：Web 申込み <https://www.aij.or.jp/event/detail.html?productId=612828> よりお申し込みください

問合せ：日本建築学会事務局 事業グループ 一ノ瀬

TEL 03-3456-2051 E-mail : ichinose@aij.or.jp

※別途有料にて、リアルタイム動画配信を実施します（動画配信申込み締切 1 月 16 日）

動画配信申込み詳細 <https://www.aij.or.jp/event/list.html?categoryId=2>